

(1面から続く)

高齢者が生き生きと暮らすために

◎地域包括ケアシステムの構築

地域包括ケアシステムの構築については、引き続き、介護、医療、生活支援、介護予防の充実を図ります。

認知症施策

の総合的な推進に向けては、引き続き関係機関との調整を図りながら、体制の整備に取り組みます。



また、「認知症カフェ」は、類似の取り組みにも目を向けながら、専門機関との連携を目指すとともに、各日常生活圏域への普及に向けて支援します。

◎高齢者の見守り

地域包括支援センターなどを核としたまもりネットワークの構築を進め、高齢者を

人にやさしいまち

◎障害福祉計画の策定

「障害福祉計画」については、「障害のある人が地域で安心して暮らすことができ、自らの意思で参加できるまち」を基本理念とし、次期計画の策定に取り組みます。

◎都市計画画道路

都市計画道路東3・4・5号線は、引き続き整備工事などを進めます。東3・4・20号線は、国や都の補助を活用し、市の財政負担の軽減を図りながら、早期の完成を目指すとともに、無電柱化、歩道

地域で支えるまちづくりを進めます。

◎高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定

「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」は、アンケートの結果や国と都の動向を踏まえ、次期計画の策定に取り組みます。

子育てしやすいまちに

◎保育園の待機児童解消に向けて

30年度に向けて、中央町二丁目の都有地に認可保育園を誘致し、新規開設する計画により130人程度、また既存私立幼稚園から保育園への転用により110人程度の待機児童解消を見込んでいます。

また、私立幼稚園などで行っている一時預かり事業なども活用しながら、子育て支援サービス全般を生かして進めます。

◎子育て支援機能

児童館の配置に係る課題は、公共施設の在り方の課題であると認識しており、今後は単独施設として整備するべきで調整を図っていきます。

◎学童保育所の待機児童解消

今後も、待機児童数の動向に注視し、引き続き、学校施設の活用について教育委員会と調整を図っていきます。



さいわい保育園については29年4月に開園する「東久留米おひさま保育園」に円滑に引き継がれるよう、丁寧な対応を図るとともに、さいわい保育園に残る子どもたちには、引き続き適切な保育を実施します。

しんかわ保育園の民間化については、31年度の0歳児から段階的に募集を停止し、在園児が卒園した後に閉園します。

◎放課後子供教室

心身ともに豊かに成長する一助になることを目指すとともに、放課後の子どもたちの活動をより充実させるため、29年度は新たに3校拡大し、事業を行います。

◎妊娠期からの切れ目ない支援

すべての妊婦への面接を30年4月から実施できるよう準備を進め、国から示されている仕組みである「子育て世代包括支援センター」につながるよう努めます。

29年度当初予算

◎予算編成と概要

29年度一般会計予算は、412億6100万円で、対前年度比6億9500万円、1.7%の増となっております。

一般会計と国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道事業の4特別会計を合わせた総額は、705億8380万6000円で、対前年度比9億4900万90000円、1.4%の増となっております。

その他、29年度の主な課題への対応

◎市庁舎レイアウトの見直し

女性活躍（働き方改革）の推進と住民サービスの向上を図るとともに、庁舎レイアウト上の課題の解決に向けて、市役所1階・2階・7階のレイアウト改修工事を順次行います。

◎地域公共交通の充実

短期的な施策として、子育て世帯・高齢者を対象としたデマンド型交通方式の導入を基本とし、今後検討を重ねていきます。

併せて、バス事業者に対しては、路線の拡大などへ向け、情報提供を行うなどの取り組みを進めます。

◎所沢街道の歩道設置

現在事業を進めている区間に加えて、未事業区間の歩道

◎ごみ対策課庁舎建て替え事業

仮設庁舎に必要な機能を付加し、ごみ対策課庁舎とするための増築工事を行うとともに、リース物件として賃借している仮設庁舎を取得します。



第31回ファミリースポーツフェスティバルの様子

基盤の確保を目指します。

市道路面陥没を未然に防止し、道路の安全性をより高められるよう、目視で確認できない路面下の状況を把握する調査を29年度から実施します。

◎健康で幸せに過ごせるまち

受動喫煙に関しては、国の傾向に注視しつつ、現在市庁舎屋外ひろばに設置している喫煙場所を市庁舎駐車場の一角に移設します。

◎子どもの未来と文化を育むまち

第五小学校においては、図工室などの改修工事や校舎棟の増築工事を実施します。

第二小学校、大門中学校においては、老朽化への対応として、大規模改修工事に伴う実施設計を行います。

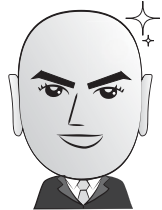
◎計画を推進していくために

男女共同参画事業については、男女平等推進市民会議の答申を尊重し、「次期男女平等推進プラン」を取りまとめ、引き続き男女が共に生き生きと暮らす社会の実現に向けて

公園施設については、老朽化した遊具などの補修、更新工事を順次行い、快適な社会

ライジングサン

市長 並木克巳



ふるさとづくり大賞」の団体賞を受賞しました。同賞は全国で「それぞれのところをよめる地域（ふるさと）」をより良くしようとする「団体・個人が表彰されます。氷川台自治会は、空き家・空き地が災害時における被害拡大の原因や犯罪の温床となることを防ぐため、空き家を地域の資源として捉え、庭を農園として管理して、野菜の直売所やさまざまなイベントに利用しました。空き家もたらず悪影響を未然に防ぐだけでなく、「触れ合いの場」として地域を活性化していることが高く評価され、今回の受賞となりました。

私は地域のつながり、支え合うまちづくりと、東久留米市民として多くの方がつながり、一体となる元気なまちを目指しています。しかし、それぞれの地域性もあることか

全国的に評価される事例が市内にある事を大変強く思います。市内にはそれぞれの地域性を生かし頑張っている自治会などがまだあります。ぜひともまちづくりの参考にさせていただきます。支え合い絆深まる元氣なまちづくりを推進してまいります。

今回は地域の活性化に努力している自治会について紹介します。このたび、氷川台自治会が「平成28年度

利便性向上を目指します。東京2020オリンピック・パラリンピック大会への機運醸成に向けては、他自治体と連携してハンドボールフェスティバルを実施するとともに、スポーツセンターの第1体育室の床改修工事を実施します。

終わりに

私は、厳しい現状を踏まえ、このまちを「夢と希望の持てる元気なまち」にしていくといった夢と理想を市民の皆さまとともに共有していきたいと考えており、それが、実現への第一歩になると考えています。今後は市民の皆さまと一体となって、困難な課題にもチャレンジし、人口減少の抑制、そして地域の活性化による好循環を創出し、持続できる選ばれるまちづくりを進めていきます。

男女共同参画事業については、男女平等推進市民会議の答申を尊重し、「次期男女平等推進プラン」を取りまとめ、引き続き男女が共に生き生きと暮らす社会の実現に向けて

市政情報コーナーが市役所1階へ移転します

市政情報コーナーでは、市の予算書・決算書、重要な計画、審議会などの報告書・会議録、パブリックコメントなどが閲覧できます。

同コーナーは3月21日（火）から市役所1階ロビー（市民課正面）へ移転します。移転後も気軽に利用ください。

【利用時間】土曜・日曜日、祝日を除く午前8時半～午後5時

※移転後も市の有料刊行物は生活文化課（市役所2階）で頒布します。

詳しくは秘書広報課広報係 ☎470・7708へ。